

款	農林水産業費	項	農業費
施策名	都市と農村の交流事業		
施策体系名	産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり		
決算額	578千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 578千円

【施策の概要】

平成20年度に「土浦市都市と農村交流事業検討委員会」を設立し、本市交流事業の在り方・方向性を取りまとめ、新治地区と霞ヶ浦周辺地区が重点地区として示されました。平成21年度に「新治地区都市と農村交流事業推進協議会」を、平成22年度に「霞ヶ浦周辺地区都市と農村の交流事業推進協議会」をそれぞれ設立し、平成23年度は、交流事業の進め方や体験農業、特産物を活用した加工品の試作・販売に取り組みました。

1. 「新治地区」における交流事業の取組

① 農業体験の取組

協議会内部会組織「ふるさと農業体験塾」を設立し、年5回の野菜づくり体験とそば打ち体験を実施し、20組57人の参加者がありました。

② 地域特産物を活用した取組として、「産業祭」や「小町祭り」において特産品の試食・販売を実施しました。

販売：ジャム（梨・ブルーベリー）、「蕎麦すいとん」、 「蕎麦しるこ」

試食：ジャム（梨・ブルーベリー）

2. 「霞ヶ浦周辺地区」における交流事業の取組

交流の受け皿となる推進協議会を中心に、消費・体験参加の推進、美しい農村景観の活用・保全、土浦らしさの創造・PRの進め方について協議しました。

3. 農業体験のできる「市民農園」の開設

地区	農園名	区画数	貸し出し区画
四中地区	高津農園	104区画	93区画
上大津地区	神立農園	79区画	79区画
六中地区	摩利山農園	37区画	34区画
三中地区	中村西根農園	30区画	30区画



そば打ち体験



野菜づくり体験

【施策の成果】

価値観の多様化や余暇時間の増大に伴い、生きがいづくりへの関心が高まる中で、農業体験に参加していただいたり、市民農園を利用していただいたりしたことにより、都市と農村の交流や憩いと安らぎの場の提供を実践することができました。

款	農林水産業費	項	農業費			
施策名	県営ほ場整備事業（手野地区，坂田地区）					
施策体系名	産業の振興を図り，活力とにぎわいのあるまちづくり					
決算額	71,088千円	財源内訳	国県支出金等	17,964千円	一般財源	53,124千円

【施策の概要】

◎手野2期地区

霞ヶ浦沿岸に広がる未整備のレンコン地帯約173ヘクタールについて，道路，用排水及び区画形状を整備することにより，農地の集団化を図り，農業基盤を確立することを目的として，平成7年度に県営ほ場事業として採択を受け，事業に着手しています。平成17年度に手野1期地区の134.5ヘクタールの整備が完了し，現在，手野2期地区の38.5ヘクタールの整備として道路等の付帯工を進めています。

事業主体：茨城県

事業期間：平成18年度～平成25年度

総事業費：1,396,300千円

事業内容：整地工 38.5ha

道路工・排水路工・揚水機場 2か所

整備済面積：38.5ha

平成23年度

県営ほ場整備事業負担金 26,805千円

・パイプライン工 1式

・付帯工 1式

市道拡幅事業

歩道整備 L=650 W=10.0m

(片側歩道W=3.0m)



整備箇所



位置図

◎坂田地区

国道125号線と桜川に広がる畑地帯33.6ヘクタールについて，道路及び水路等の整備や耕地整理などの基盤整備を実施することにより，営農の省力化を図り，生産性の高い農業基盤を確立することを目的として，昭和61年度から県営ほ場事業として整備を進めています。

事業主体：茨城県

事業期間：昭和61年度～平成26年度

総事業費：995,000千円

事業内容：区画整理工 33.6ha

道路工

排水路工

整備済面積：24.8ha

平成23年度

県営ほ場整備事業負担金 26,319千円

・区画整理工 6.5ha

埋蔵文化財発掘調査委託料 17,964千円

・発掘調査 4,560㎡



整備箇所



位置図

【施策の成果】

整地工及び揚水機場等の整備を行い，農業生産基盤の充実・推進に寄与しました。

款	農林水産業費	項	林業費
---	--------	---	-----

施策名	林業振興対策事業		
-----	----------	--	--

施策体系名	産業の振興を図り，活力とにぎわいのあるまちづくり		
-------	--------------------------	--	--

決算額	3,208千円	財源内訳	国県支出金等	3,208千円	一般財源
-----	---------	------	--------	---------	------

【施策の概要】

平成20年度から導入された「茨城県森林湖沼環境税」の財源を活用した「身近なみどりの整備推進事業」により，荒廃した平地林・里山林の下草刈り，除伐や植栽を実施し，森林の適正な保全・整備を進め，快適で豊かな地域の森林環境づくりに取り組みました。

- ・身近なみどりの整備推進事業（23年度実績）

（単位：ha）

実施場所	整備面積
①手野町字新堀	0.77
②中村西根字向入ヶ田	0.66
③西並木町	0.18
④上坂田字浦山，上坂田字新田	0.57
⑤田宮字宮脇，字梶ノ宮，字梶神，字宮前	1.50
⑥田宮字天王前	0.24

- ・整備実績

（単位：ha, 千円）

年 度	20年度	21年度	22年度	23年度	合計
整備面積	0.50	0.67	1.09	3.92	6.18
整備費	441	609	1,512	3,207	5,769



植栽（実施前）



植栽（実施後）



下草刈り・除伐（実施前）



下草刈り・除伐（実施後）

【施策の成果】

身近に存在する荒廃した森林（民有林）について，緑地としての機能の回復を図ることができました。

款	商工費	項	商工費
施策名	プレミアム付商品券補助事業		
施策体系名	産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり		
決算額	20,378千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 20,378千円

【施策の概要】

消費者の利便を図るとともに、市内での消費流失防止対策の一助とし、合わせて市内商業の発展と振興を図ることを目的に、土浦商工会議所が主体となり、額面3億3千万円（1割のプレミアム分を含む。）の商品券を発行することから、商品券発行に係る経費（1割のプレミアム分、印刷費、PR費等）の一部を補助しました。

補助対象事業費内訳

商品券発行額 330,000千円（1,000円券8枚、500円券6枚の計14枚つづり×3万セット、1,000円券4枚は、大型店でも使用可能）
 プレミア補填 15,000千円（プレミアム分30,000千円の2分の1）
 事務費 5,500千円（商品券印刷・広報PR）

平成23年度実績

第11期

期間 平成23年7月1日（金）～平成23年10月31日（月）

発行額 165,000千円

第12期

期間 平成23年12月1日（木）～平成24年3月31日（土）

発行額 165,000千円

取扱店 610店

販売所 25販売所

（単位：千円）

区分	決算額の内訳	概要
プレミアム補填分	14,878	プレミアム付商品券回収分に対するプレミアム補填分
事務費	5,500	商品券印刷・広報PR
合計	20,378	



第11期プレミアム付商品券



第12期プレミアム付商品券



販売店及び加盟店用のぼり旗

【施策の成果】

事業開始時においては、商品券の完売までに約1か月間を要していましたが、1割のプレミアム付商品券のPR効果もあり、最近では短期間で完売するなど人気が定着しています。

平成23年度の換金実績は、経済の低迷や郊外大型店舗の出店が進む厳しい商業環境の中にあっても、個店での利用割合が77%、大型店での利用割合が23%と、市内の個店及び専門店での利用者が多く、消費流失防止につながりました。

款	商工費	項	商工費
施策名	企業誘致事業		
施策体系名	産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり		
決算額	82,268千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 82,268千円

【施策の概要】

市内の工業団地に企業の立地を促進し、工業の振興と雇用機会の拡大を図ることを目的として、茨城県が大都市にて開催する工業団地立地説明会等に参加し、市内工業団地のPRを実施しました。また、市内の工業専用地域、準工業地域、東筑波新治工業団地に新設又は増設をする法人で、新増設に伴い新規採用により従業員数が5人以上増加した法人に対して、奨励金として固定資産税相当額を3年間交付しています。

・平成23年度奨励金交付実績

①ヒロフーズ	3,330,700円	②精工	10,725,300円
③フルヤ金属	18,927,500円	④JFEライフ	3,006,700円
⑤サンケアフェューエルズ	3,189,100円	⑥ヤマトオートワークス	2,654,900円
⑦東精エンジニアリング	6,161,400円	⑧花園万頭	5,217,100円
⑨環境経営総合研究所	3,582,400円	⑩東立運輸	1,227,400円
⑪スミダ飲料	14,517,600円	⑫郷商事	2,102,570円
⑬ヤマトマルチメンテナンスソリューションズ	2,361,600円	⑭JFEライフ第3期増設	5,080,900円

・市内工業団地分譲状況	・テクノパーク土浦北	10区画	26.5ha	未分譲	2区画	7.9ha
	・東筑波新治工業団地	14区画	22.6ha	未分譲	2区画	1.8ha
	・おおつ野ヒルズ	6区画	21.6ha	未分譲	6区画	15.9ha

・CEATEC JAPAN（最先端IT・エレクトロニクス総合展：幕張メッセ）

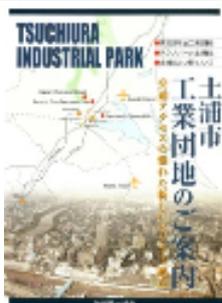
開催日 平成23年10月4日（火）～8日（土）
 出展者 586社・団体 来場者数 172,137人
 茨城県圏央道沿線地域産業・交流活性化協議会ブースへの共催参加

・平成23年度いばらき産業立地セミナー I N大阪

開催日 平成24年2月3日（金）
 参加企業 94企業・129人
 内容 土浦市内の工業団地及び観光PRブースを設置

（単位：千円）

区分	事業費	概要
企業誘致奨励金	82,086	(株)ヒロフーズほか13社
旅費	152	CEATEC JAPAN, 産業立地セミナー
需用費	30	
合計	82,268	



企業誘致パンフレット



東筑波新治工業団地



CEATEC JAPAN

【施策の成果】

- ・平成23年11月に工業団地（東筑波新治工業団地）で用地取得が1件ありました。
- ・県外での産業立地セミナーへの参加等により、本市及び市内工業団地を広く紹介することができました。

款	商工費	項	商工費
施策名	中心市街地活性化基本計画に基づく各種事業の推進		
施策体系名	産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり		
決算額	45,643千円	財源内訳	国県支出金等 1,000千円 一般財源 44,643千円

【施策の概要】

食のまちづくり事業

地元産品の利活用・地産地消の考え方を基に、オリジナルカレーの普及をはじめ、新たな名物創作料理を創出するとともに、カレーフェスティバルでは「つちうらカレー物語」認定店・認定メニューを紹介するなど、カレーのまち土浦を全国に発信しました。

[第8回カレーフェスティバル]

- ・実施状況…平成23年11月19日（土）・川口運動公園・61店舗・来場者約12,000人

ジャズフェスティバル開催事業

中心市街地の商店会が実施主体となり、商店街の活性化とまちなかのにぎわいを取り戻すため開催する「ジャズフェスティバル」への支援を行いました。

[サウンド蔵つちうら2011]

- ・実施状況…平成23年9月18日（日）・モール滝の前広場・来場者約700人
(復興イベント「がんばらナイト!土浦」の一環として開催)

まちづくり活性化バス運行支援

中心市街地への集客力・来街機能、生活環境の向上を図るため、活性化バス「キララちゃん」の運行支援を行いました。10月からは市民会館循環ジャンボタクシー（10人乗り）をノンステップバス（28人乗り）に入れ替え、バリアフリー化とともに輸送力の増強を図りました。

- ・平成23年度利用者数…149,431人（1日当たり409.4人、1便平均9.3人）

チャレンジショップ事業

中心市街地の空き店舗を活用し、独立開業ができるよう支援を行うとともに、空き店舗の有効活用の支援を行いました。

まちなか交流ステーション事業

まちなかのにぎわいを創出するため、まちあるき講座や茶話会の開催、七夕イベント・クリスマスイベントへの協賛など、各種事業を展開するとともに来街者や地元商店会会議等に広く活用しました。

- ・利用状況…4,870人（平成23年6月～平成24年3月）

キッズマート開催事業

子ども達自らが企画立案し、仕入れから商品づくり、販売までの商い体験を通して、起業家精神の醸成を図るため、小・中学生の商業体験事業を実施しました。

- ・実施状況…平成23年10月27日（木）・モール505・菅谷小、藤沢小、斗利出小、山ノ荘小、都和中、新治中・計251人



まちづくり活性化バス運行支援



まちなか交流ステーション事業

まちづくり機関支援事業

中心市街地活性化の取組を横断的・総合的にコーディネートする役割を担うまちづくり機関に対して管理・運営支援を行い、民主体のまちづくりを推進しました。

まちなか元気市開催事業

中心市街地のまちなか空間を活用し、地元商店会等との協働により元気市を開催することにより、中心市街地のにぎわい空間を創出しました。

- ・実施状況…第13弾・平成23年4月17日（日）・モール505・東日本大震災の影響により中止
- 第14弾・平成23年9月17日（日）・うらら広場・来場者約1,800人・復興イベント「がんばらナイト！土浦」の一環として開催
- 第15弾・平成23年12月3日（日）・モール505・雨天のため「50.5mロングロールケーキづくり」のみ実施

まちなか賑わいパラソル・彩り・鯉のぼり事業

中心市街地のまちなか空間を活用し、商店街と協働による街路灯へのペナント掲出をはじめ、パラソル・テーブルやフラワーポット、鯉のぼりを設置するなど、彩りによる演出を行いました。

中心市街地「まちの駅」おもてなし事業

中心市街地の既存施設や事業者等の参加により、まちづくりの拠点として「まちの駅」を設置し、来街者にまちなかを楽しく回遊していただくことで、中心市街地のにぎわい創出に努めました。

- ・まちの駅加盟店…14駅

まちなかドリンクラリー事業

商店会や飲食店事業主のネットワーク化による組織強化とおもてなしの機運醸成を図るとともに、多くの参加者を得ることができ、まちのにぎわいを創出しました。

- ・復興イベント「がんばらナイト！土浦」の一環として開催
- 参加飲食店57店、参加者数（チケット売上状況）…565人（前売り521冊、当日44冊）

土浦散歩絵地図作成事業

まち歩き講座を通し収集したまちの魅力を、コンパクトに持ち歩きしやすく親しみやすいミウラ折りの絵地図にして作成しました。

（平成23年度茨城県商店街活力向上支援事業費補助事業…1,000千円）



まちなか元気市開催事業
(夜市)



土浦散歩絵地図作成事業

【施策の成果】

事業者、NPO、関係団体、市民が協働し、まちのにぎわい創出と中心市街地活性化事業の取組を展開することにより、中心市街地の活性化に努めました。

特に、9月には、「まちなか元気夜市」「ジャズコンサート」「がんばる土浦！ドリンクラリー」などの事業を2日間にわたり震災復興イベント「がんばらナイト！土浦」と題し開催したところ、大きな反響をいただき、まちなかににぎわいを創出することができました。また、まちづくり活性化バス「キララちゃん」は、Aコース市民会館循環をノンステップの新車両に入れ替えたことで、3路線の全てが車いすで乗車可能なバリアフリー対応となりました。

款	商工費	項	商工費
施策名	中心市街地活性化基本計画策定事業		
施策体系名	産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり		
決算額	1,960千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 1,960千円

【施策の概要】

中心市街地を取り巻く環境は、少子高齢化による居住人口の減少やモータリゼーションの進展に加え、郊外への大型ショッピングセンターの立地などにより、都市機能のスプロールや商業機能の衰退が進み、「まちの顔」である中心市街地は大きく変化しています。

本市では、現在、旧中心市街地活性化法に基づき、平成12年4月に策定した「土浦市中心市街地活性化基本計画」により各種活性化施策を推進しているところですが、計画策定から10年以上が経過する中、平成18年には市街地の整備改善によるまちなか居住に重点を置いた新法に法律が改正され、まちづくりの考え方も人口減少社会の到来等に対応した「コンパクトでにぎわいのあるまちづくり」を目指す考え方が示されました。

こうしたことから、新法の理念に沿った新たな中心市街地活性化基本計画の策定に向け、平成22年度から取り組んでおり、平成23年度は基本計画が国の認定を受けるための必須要件となる中心市街地活性化協議会の設立に向けた準備を進めました。

[主な事業内容]

○中心市街地活性化基本計画策定委員会の開催（1回）

○中心市街地活性化協議会設立準備のための関係者事前打ち合わせ（4回）

区分	決算額の内訳
・委託費（中心市街地活性化基本計画策定）	1,134千円
・報償費（策定委員会委員報酬）	125千円
・補助金（中心市街地活性化協議会）	701千円
合計	1,960千円



中心市街地

【施策の成果】

策定委員会では、内閣府との協議結果を受け、核となる事業についての考え方や計画の策定期間について協議した結果、新市庁舎建設などの事業の方向性が具現化される平成24年度へ策定期間を見送ることとしました。また、商工会議所と連携し、中心市街地活性化協議会設立に向けた準備を行うとともに、民間事業の創出に向けたヒアリング等を実施し、認定基本計画を目指した取組を進めました。

款	商工費	項	商工費
施策名	小町ふれあい広場整備事業		
施策体系名	産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり		
決算額	16,360千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 16,360千円

【施策の概要】

小町の里周辺の自然環境や歴史・伝承といった様々な地域資源と特性を活かし、交流人口の拡大による本市の産業振興や地域経済の活性化を図るため、小町の里整備基本構想、基本計画を策定し、平成23年度には、新たな拠点施設の整備と既存施設の改修に係る基本設計及び実施設計を行いました。

また、小町の里のシンボルである水車の水輪改修工事を行い、その製作過程を映像に記録保存するための撮影を行いました。

○（仮称）小町の館体験館新築及び本館改修工事実施設計委託 12,548千円

<委託内容>

- ・地質調査
- ・測量調査

・（仮称）体験館新築設計

（単位：㎡）

建築名称	構造	階数	延床面積	建築面積
体験工房	木造	平屋建	258.36	300.85
土間の空間	鉄骨造	平屋建	127.59	90.25
かふえ棟	木造	平屋建	99.37	123.63
農作業用器具置場	木造	平屋建	24.84	24.84
合計			510.16	539.57

- ・小町の館本館改修設計（延床面積 471.42㎡）
<ホールレイアウト、天井、床、トイレ等の改修>

○小町ふれあい広場水車水輪改修工事 2,993千円

<工事内容>

- ・劣化した水輪の解体
- ・新たな水輪の製作、設置

○小町の里水車修復作業撮影業務委託 819千円

<委託内容>

- ・水車修復作業の全工程の撮影、編集作業



水車修復作業とその撮影



（仮称）小町の館体験館完成イメージ

【施策の成果】

小町の里基本構想、基本計画に基づき、小町の里に存在する豊富な地域資源を活かした体験活動を行う（仮称）体験館の実施設計や小町の館本館のビジターセンターとしての機能強化を図るための改修設計を実施しました。

また、水車については、平成6年の整備後18年を経過し、劣化している水輪を交換するとともに、製作過程の撮影記録については、改修後の小町の館において上映をします。

款	商工費	項	商工費
施策名	第80回土浦全国花火競技大会事業		
施策体系名	産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり		
決算額	71,351千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 71,351千円

【施策の概要】

期日：平成23年10月1日（土）

場所：桜川畔学園大橋下流付近

種目：スターマインの部：22台、10号玉の部：45発、創造花火の部：22組

全国有数の煙火業者の出品による花火競技大会を開催することで、わが国の煙火技術の向上を図るとともに、多くの観客を誘致することにより、本市の観光事業及び商工業の発展に寄与することを目的に開催しています。

◎平成23年度事業費（単位：千円）

区分	事業費	概要
職員手当等	6,231	係員時間外手当
補助金	65,120	花火大会事業補助金
合計	71,351	

◎花火競技大会収支決算（単位：千円）

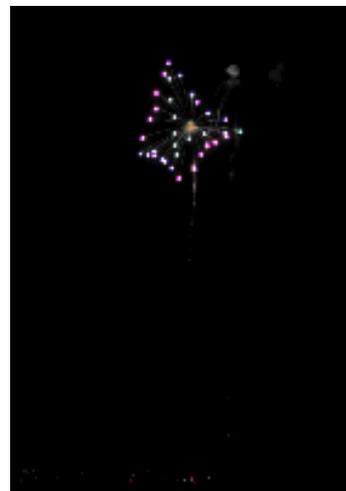
収入	207,097	市補助金 栈敷席収入等
支出	207,097	栈敷席設置・安全対策等



スターマイン優勝作品
[野村花火工業(株)]



10号玉優勝作品
[野村花火工業(株)]



創造花火優勝作品
[田畑煙火(株)]



ワイドスターマイン「土浦花火づくし」



慰霊花火



エンディング花火

【施策の成果】

大会運営においては、約70万人の観覧客を集め、10号玉の打ち上げ方法を1筒1発方式へ改善するなど安全な煙火消費に努めたほか、東日本大震災後の大会として地震対策のため栈敷席の強度アップや停電時のバックアップ電源を設置するなど、これまで以上に安全対策を講じました。また、今回は、東日本大震災復興祈願「第80回記念土浦全国花火競技大会」としてオープニングには慰霊花火を、エンディングには80回を記念して7号玉80発を打ち上げ、競技花火のみならず、大会全体の魅力化に努めたところ、いばらきイメージアップ大賞の大賞を受賞するなど本市のイメージアップを図ることができました。

なお、平成23年度は、東日本大震災で被災した石巻市の花火大会に賛助金を送りました。